

もっと京都 新発見

散策 駅からecoマップ



四季折々に変化する高原の木々 名勝るり溪を散策

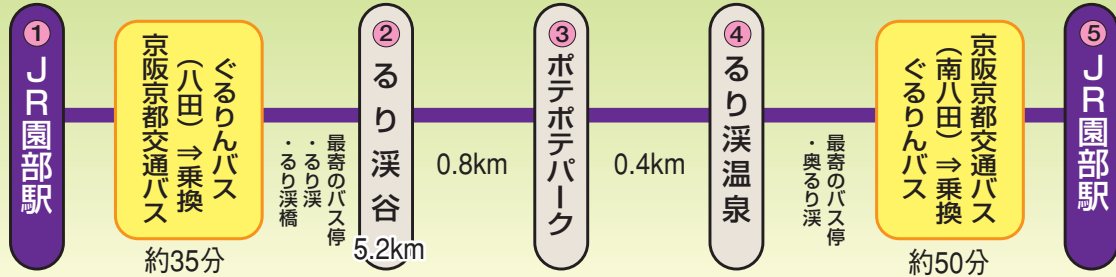
府立自然公園のるり溪は、るり溪12勝と呼ばれる大小さまざまな滝や岩が四季それぞれに変化する兩岸の木々とマッチして、自然の美しさを楽しめます。

コース 6

全長：約7km 所要時間（目安）：約2時間30分

園部駅

モデルコース



※るり溪方面へのバスは曜日、時間帯によって乗り継ぎのバス停や路線が変わりますのでご注意ください。
また「園部駅～るり溪温泉」のるり溪温泉利用のお客様専用シャトルバスが1日数本ありますが、途中乗車・下車はできません。



■問合せ 南丹市商工観光課 TEL 0771-68-0050 FAX 0771-63-0654 <http://www.city.nantan.kyoto.jp>

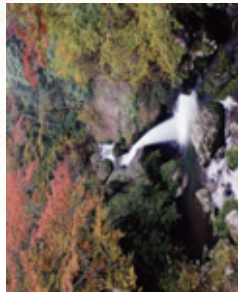
発行 京都府・JR西日本観光連携協議会（(社)京都府観光連盟内） JR嵯峨野線沿線観光キャンペーン推進協議会（京都府南丹広域振興局商工労働観光室、南丹市商工観光課）

② りい深

国の名勝地に指定されている京都府立自然公園。瑠璃は紫色を帯びた紺色の寶石のこと。明治時代、あまりの美しさに感動した郡長が「りい深」と命名したといわれている。およそ4kmの散策コースには「りい深12勝」と呼ばれる大小様々な滝や岩が並び、四季それぞれに変化する兩岸の木々や草花と調和され、人々の目を楽しませてくれる。平成8年、環境庁の「残したい日本の音風景百選」にも選ばれた。

錦織滝(きんしゅうがん)

紅葉の季節には錦の縫い取りをしたような美しい景観が楽しめる。



鳴瀑(めいばく)

滝の裏が空洞になっており、音がするところからこう呼ばれている。

蟬蛸泉(たいとうせん)

滝の水しぶきによって、美しい虹ができる泉を意味する。

座禅石(ざぜんせき)

江戸時代の名僧一絲和尚がこの岩の上で座禅をしたといわれている。

渴蚪洞(かっきゅうかん)

龍の水飲み場を意味し、サンショウウオが住んでいるといわれている。

双龍淵(そうりゅうえん)

雄と雌の龍が水中に泳いでいる深い淵を意味する。

玉走盤(ぎょくそうばん)

岩の上を流れる水の様子が、玉が盤の上をころげるよう美しい。

通天湖(つうてんこ)

天にも届かんばかりの高いところにある湖という意味。最上流の湖。

余仙藤(かいせんがん)

仙人が集まって盃を流して楽しんでと伝わる。

欄柯石(らんかせき)

小判のような姿の石。

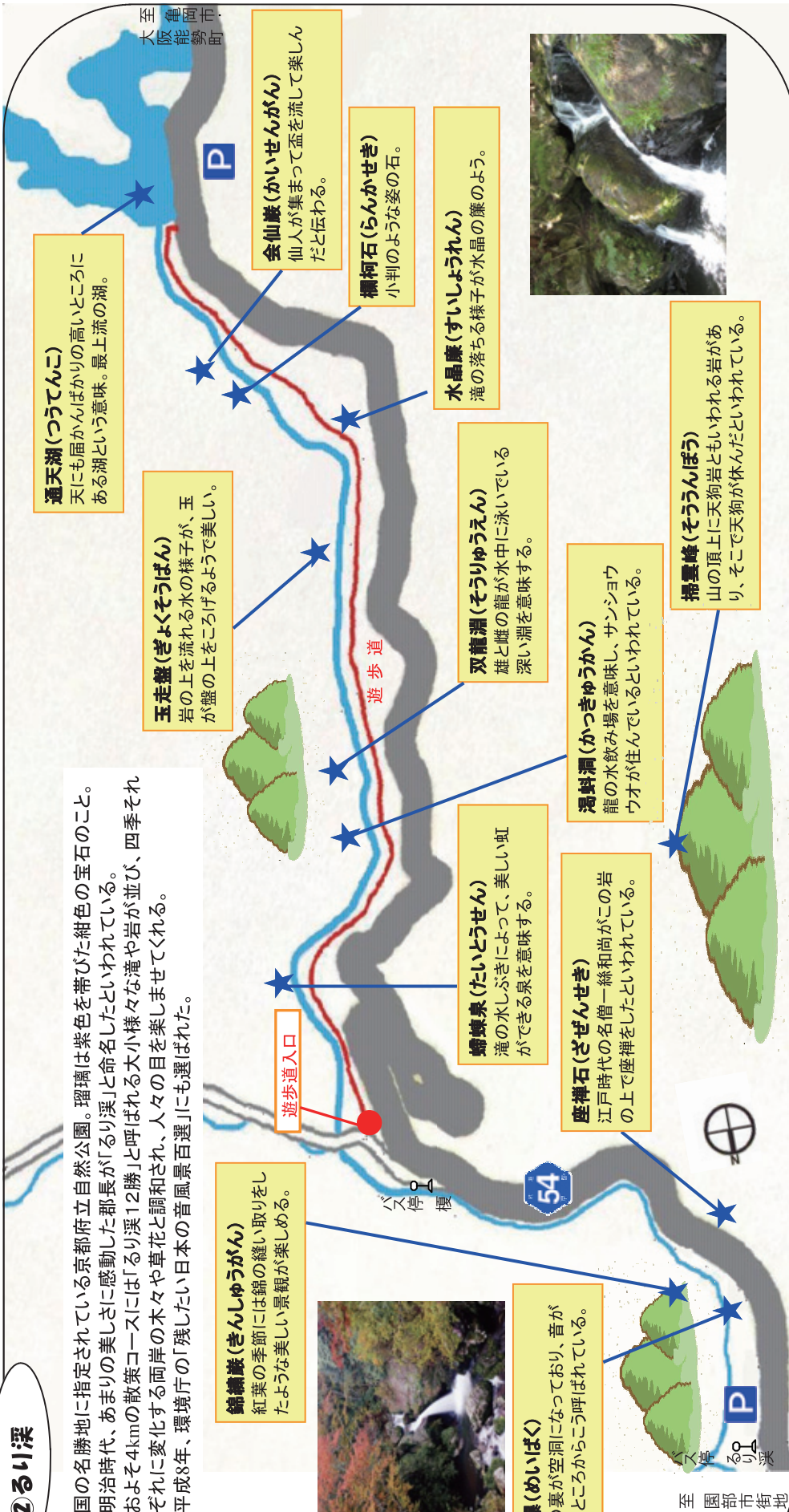
水晶簾(すいしょうれん)

滝の落ちる様子が水晶の簾のよう。



掃雲峰(そううんぼう)

山の頂上に天狗岩ともいわれる岩があり、そこで天狗が休んだといわれている。



④ りい深温泉

国内有数のラドン含有量を誇る

天然温泉、温水プール、レストラ

ン、岩盤浴や酵素浴などが日帰りで楽しめるほか、宿泊も可能。タオル、バスタオル、水着の貸出しあり。

○料金 入浴基本プラン 一般700円、小人300円

○利用時間 7:00~22:00 無休

○問合せ 0771-65-5001

③ ポテポテパーク

広い公園内

には、石の動物園やネパール友好館のほか、手作りのパンやケーキが楽しめるカフェがある。

○ポテポテパーク 入園無料

○ベーカリーカフェガーデンズ

営業時間 10:00~17:00 問合せ ④ りい深温泉へ

